

おおはしじやくいわえず

大橋磁石岩絵図

指定種別：市指定文化財

指 定 日：平成 18 年 2 月 24 日

所 在 地：個人蔵

制 作 年：文化 10(1813)年

寸 法：軸装縦 162 cm 軸装横 87.5 cm

図縦 58.2 cm 図横 73 cm



大橋磁石岩絵図は、文化 10(1813)年、御山奉行小川清六一行が甲子村大橋磁石岩の調査を実施した際、地元の野田又十が案内したことを示す歴史資料です。磁石岩の形状と計測値、ひさご沢や周辺の峰々大橋集落の状況、調査関係者名などが記されています。

磁石岩は、享保 12(1727)年、豊間根(現山田町)出身の公儀御薬草御用の阿部友之進(将翁)が発見したとされています。大正 11(1922)年の甲子村史跡名勝天然記念物台帳には、登録番号第二号「新山ノ磁石岩」として名勝に登録されています。地元住民や鉱夫から「山神ノ化現」として崇敬を集めていたようです。

磁石岩は硫黄沢の中段にありましたが、昭和 27(1952)年 3 月 30 日、鉱山の発破作業で露頭が崩落し埋没したため、現在は所在不明となっています。

崩落前の磁石岩の記録写真は釜石鉱山展示室 Teson で見ることができます。

